

食品廃棄物等の発生抑制に向けた取組の 情報連絡会（第8回）

飲食事業者連携による 持ち帰り推進(mottECO)の取組み事例





Agenda

1. (ごく簡単な) 自己紹介
2. なぜ私たちは食品ロス削減に
取り組まなければならないのか
3. 食品ロス削減に向けた飲食店事業者の取組事例
 - ・ mottECOを通じた連携による
食品ロス削減の推進

自己紹介 [中上 富之(なかうえ ふゆき)]

仕事(三足の草鞋)



株式会社デニーズジャパン

1994年 入社 デニーズ中京、神奈川、西東京、甲信地区DM～業態開発GM
2014年 サステナビリティ推進の業務に就く～現職
令和元年度かながわ地球環境賞受賞
令和2年度農水省もったいない大賞 産業局長賞受賞



環境カウンセラー(環境省)

環境プランナー・環境プランニング協議会正会員
JRCA認定EMS審査員補・日本フードサービス協会環境委員
小平市「廃棄物減量等推進審議会」委員
令和6年環境省 環境カウンセラー 循環型社会貢献賞受賞

「mottECO普及コンソーシアム」代表

消費者庁「食べ残し持ち帰りに係る法的取扱いに関する検討会」委員
厚労省「食べ残しの持ち帰りに関する食品衛生ガイドライン検討会」委員
農水省「食品廃棄物等の発生抑制等見える化仕組み構築に向けた調査検討会」委員
農水省「食べ残し持ち帰り促進アプリ開発事業」検討委員
令和4年環境省 食品ロス削減推進 審査委員長賞受賞
令和5年環境省・消費者庁食品ロス削減推進 環境大臣賞受賞
TAMAサステナブルアワード2024-2025 グッドライフスタイル大賞



Agenda

1. (ごく簡単な) 自己紹介
2. なぜ私たちは食品ロス削減に
取り組まなければならないのか
3. 食品ロス削減に向けた飲食店事業者の取組事例
 - ・ mottECOを通じた連携による
食品ロス削減の推進

なぜ私たちは食品ロス削減に取り組まなければならないのか



主な3つの理由

1. 食糧危機



2. 国の要請(方針)



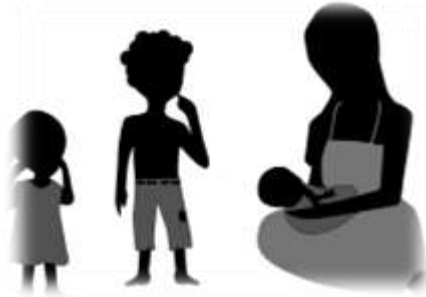
3. 温暖化対策



「飢餓問題」の原因の一つである「食品ロス」

飢餓問題が発生する原因

貧困



自然災害(温暖化)



紛争



食品ロス



世界で**飢餓問題が深刻化する原因は多岐にわたるが**、主な要因として、貧困や自然災害、紛争等が挙げられ、**そのひとつとして、食品ロス**が存在する。

まだ食べられるにも関わらず、様々な理由で廃棄される食料が存在し、食料資源の有効活用が妨げられている状況が発生している。



食品ロスとフードロス

～FAO(国連食糧農業機関)の定義～

食のサプライチェーン(「生産・貯蔵・加工・製造・流通」から、「小売・外食・家庭」への一連の流れ)において、前半で発生するものを「Food Loss(フードロス)」、後半で発生するものを「Food Waste(フードウェイスト)」と呼ぶ



食品ロス Food Loss & Waste

フードロス Food Loss

生産 ➡ 貯蔵 ➡ 加工 ➡ 製造 ➡ 流通



フードウェイスト Food Waste

小売 ➡ 外食 ➡ 家庭



SDGs12-3の数値目標
2030年までに半減

12-3

2030年までに、お店や消費者のところで捨てられる食料（一人当たりの量）を半分に減らす。また、生産者からお店への流れのなかで、食料が捨てられたり、失われたりすることを減らす。



この解決のひとつの
手段として



なぜ私たちは食品ロス削減に取り組まなければならないのか



主な3つの理由

1. 食糧危機



2. 国の要請(方針)



3. 温暖化対策





国の要請：食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針 概要

当方針は、行政、事業者、消費者等の取組の指針となるものとして、「**食品ロスの削減推進に関する法律**」の規定に基づき策定

《我が国の食品ロスの状況》
 (第2次基本方針策定時)
 ・食品ロス量は年間472万トン(令和4(2022)年度推計)
 =国連世界食糧計画(WFP)による食料支援量(約370万トン)の1.3倍
 ・年間1人当たりの食品ロス量は38kg

事業系236万トン
 家庭系236万トン

持続可能な社会の実現

多様な主体が連携し、国民運動として食品ロスの削減を推進

事業者 消費者 学校 大学等
 関係団体 環境省 消費者庁 文部科学省 地方公共団体
 経済産業省 関係省庁 農林水産省 厚生労働省 法務省

【第1次基本方針】
令和2年3月31日閣議決定

【第2次基本方針】
令和7年3月25日閣議決定

食品ロスの削減の推進において消費者、食品の生産・製造・販売等に関わる事業者等に求められる役割と行動
 消費者、食品関連事業者、国・地方公共団体等の各主体がそれぞれの立場で、食品ロスの問題を「他人事」ではなく、「**我が事**」として捉え、**行動に移すことを促進**。

《消費者》
 日々の生活の中でできることを一人一人が考え、行動に移す。

例)

- ・買物の前に家にある食材をチェック。
- ・定期的な冷蔵庫内の在庫管理。
- ・食卓に上げる料理は食べられる量に。
- ・外食時は食べられる量を注文。

宴会時の3010運動等の実践。
 残った場合は自己責任の範囲で持ち帰り。

3010運動
 30分前
冷蔵庫を空にし、お肉、お魚を凍らせないよう。

買物時30分前
お肉、お魚を凍らせないよう。

お肉は10分前
お肉を凍らせないよう、お魚は凍らせないよう。


 【自己責任で持ち帰ることができることを明示したロゴマーク mottECO】

《農林漁業者・食品関連事業者》
 事業活動による食品ロスを把握、商慣習を含め見直しに取り組む。

例)

- ・規格外や未利用の農林水産物の有効活用。
- ・賞味期限表示の大型化、賞味期限の延長、納品期限(3分の1ルール)の緩和。
- ・季節商品(湯ほうろきなど)の予約販売等。
- ・値引き・ポイント付与等による売り切り。
- ・外食での小盛りメニュー等の導入。
- ・持ち帰りへの対応。

 【農林水産省の食品ロス削減ポロジックの取組】

 【小盛りメニュー等の導入】

《国・地方公共団体》
 消費者等への普及啓発、食品関連事業者等の取組への支援、情報の収集・提供、未利用食品を提供するための活動の支援等を実施。

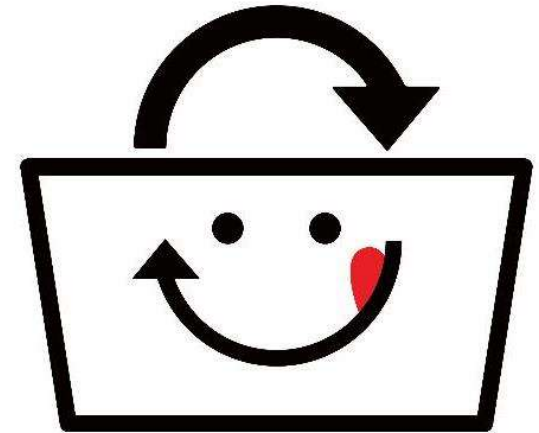
例)

- ・食品ロス削減の施策の推進。
- ・災害時用備蓄食料の有効活用。
- ・主催イベントでの食品ロスの削減。
- ・食品ロス削減の推進に関する表彰。

都道府県及び市町村は、地域の特性を踏まえた取組を推進するため、「食品ロス削減推進計画」を策定(努力義務)。目標は、計画策定を促進。

 【国の災害時用備蓄食料の有効活用としてフードバンク団体に提供】

 【食品ロス削減全国大会の実施】



mottECO

国の推奨施策の柱のひとつ

なぜ私たちは食品ロス削減に取り組まなければならないのか



主な3つの理由

1. 食糧危機



2. 国の要請(方針)



3. 温暖化対策





温暖化：気候変動と食品ロス ～気候変動の実態と食品廃棄物の関連～

24年は最も暑い年 ⇒ 去年はそれを超



食べもの関係全体で世界の温室効果ガスの34%を占める

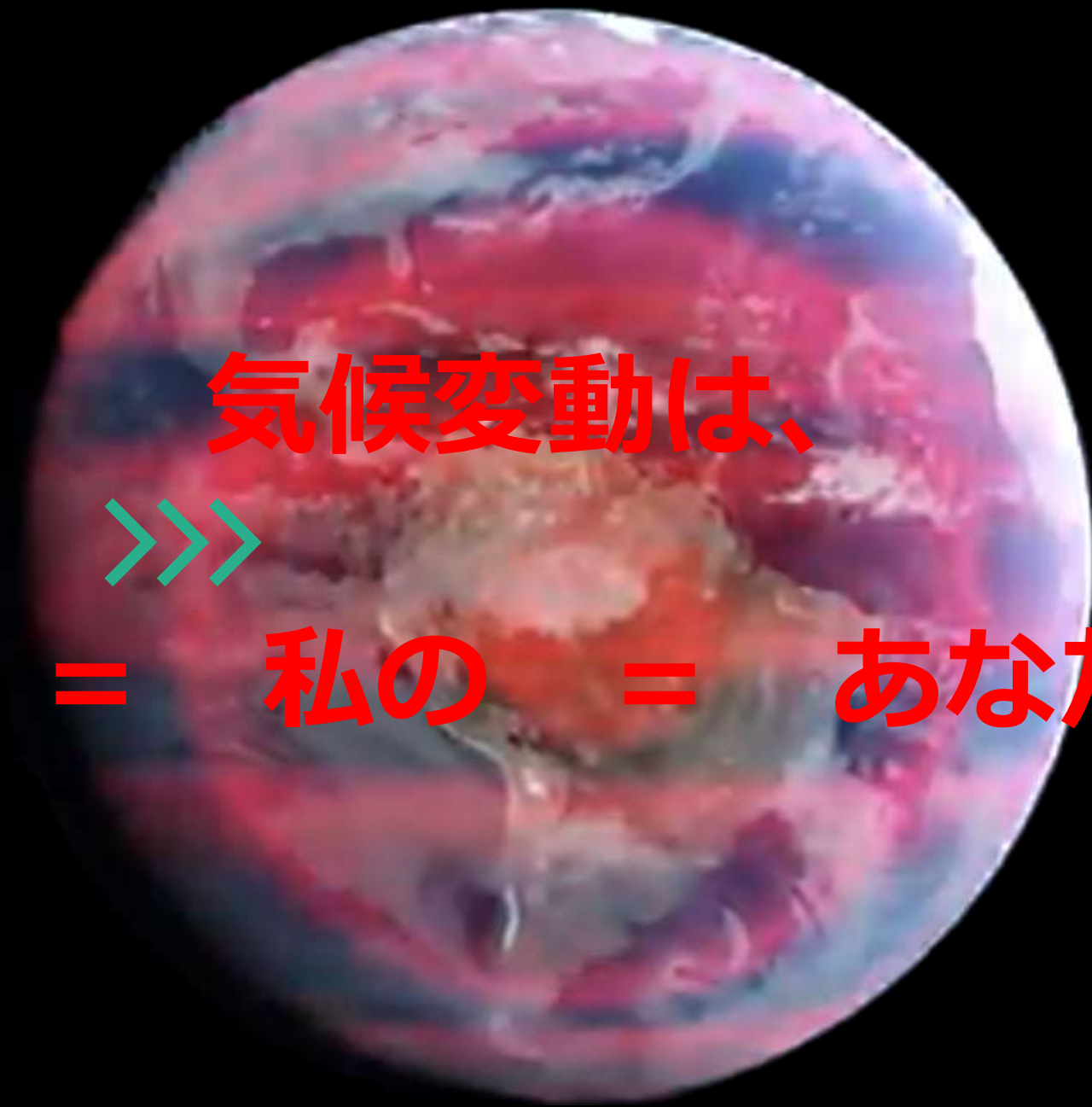


食品廃棄物の焼却処分が気候変動の一つの要因



2018年西 水没したデニーズ店舗 台風15・19号

北陸新幹線浸水



気候変動は、



人類の

=

私の

=

あなたの脅威

食糧危機



食品ロス削減は
やれる人がやる？
やりたい事業者がやる？
もうかったらやる？

国の要請(方針)



そういう時代ではない

これら3つの理由から、消費者、飲食事業者は好むと好まざるとにかかわらず、食品ロス削減に取り組まなければならない、という思いを共有するのが前半の主題でした

温暖化対策





Agenda

1. (ごく簡単な) 自己紹介
2. なぜ私たちは食品ロス削減に
取り組まなければならないのか
3. 食品ロス削減に向けた飲食店事業者の取組事例
 - ・ mottECOを通じた連携による
食品ロス削減の推進

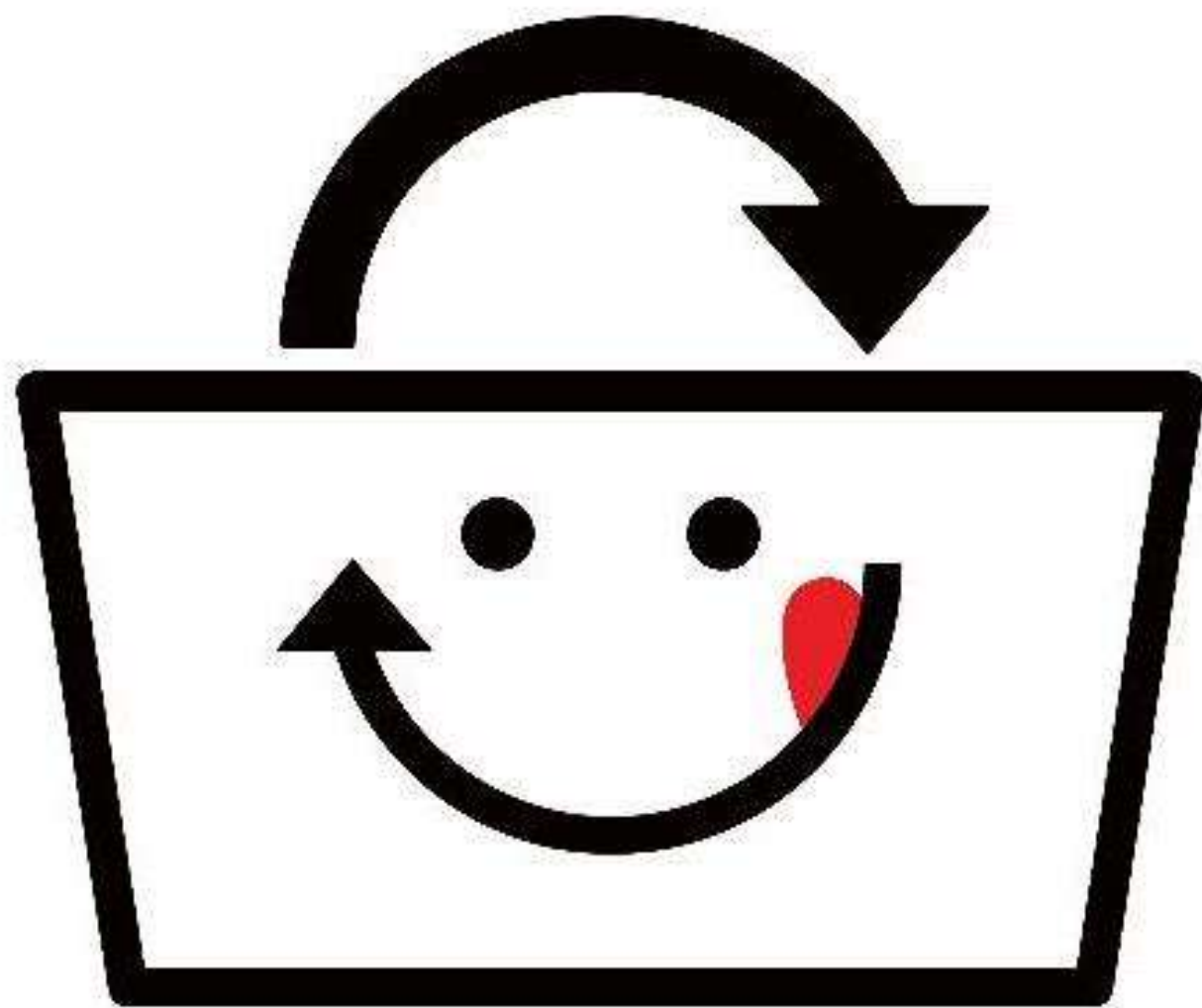
デニーズ SDGsへの取り組み

食べ物を捨てない社会へ



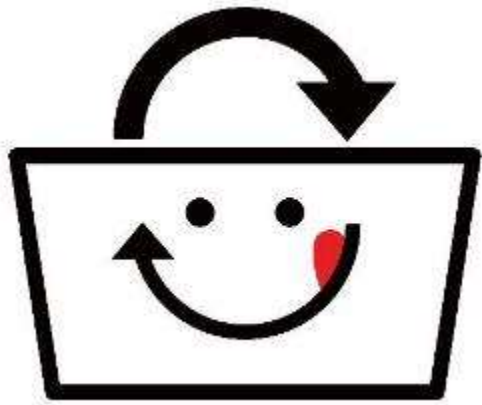
mottECO





mott**ECO**

mottECCO



モツテコ

と、読みます

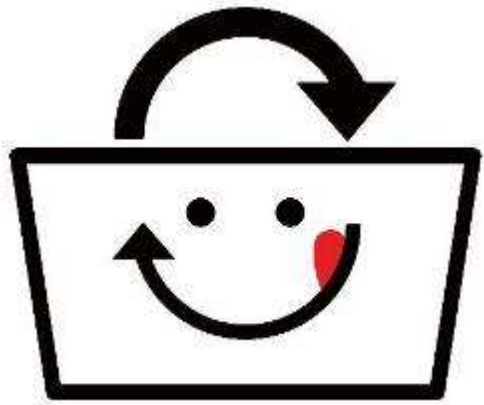
mottECOって何？



「モッテコ」は食べ残したら、持ち帰る。環境省が推奨する食品ロス削減アクションです。

厳密には環境省・農水省・消費者庁合同＝政府の推奨





mottECO
モツテコ

これは2020年、
環境省が食べ残し持ち帰りを
広めるために実施した名称コンテスト
で決まった名前です



mottECO
モッコ



「もっとエコ」
「持って帰ろう」
というメッセージが
こめられています




**2021年 私たちは、
この取り組みを**



店舗で実践し始めました



A map of Japan with numerous yellow Denon's store location markers scattered across the islands. The markers are labeled 'Denon's' in red and yellow. Major cities and prefectures are labeled in Japanese. The text 'デニーズ全店+a 約320のお店で mottECOを実施 しています' is overlaid in the center of the map.

**デニーズ全店+a
約320のお店で
mottECOを実施
しています**

企業・団体の枠を超えた「mottECO普及コンソーシアム」として展開



「産官学民連携によるmottECO普及推進を通じた食品ロス削減事業」

様々な仲間と、北海道から沖縄まで全国1,600を超える店舗でmottECOを実践しています



Hospitality Restaurant



外食懇話会



KEIO PLAZA HOTEL
TOKYO



TORIDOLL



IMPERIAL HOTEL



感動を調理する。



blanciapan株式会社



食品ロス・リポーンセンター

マイボックス普及企業組合
株式会社これやこの

かごしま環境未来財団

1. 会員団体一覧 (コンソーシアム参加順)

01.株式会社デニーズジャパン

02.ロイヤルホールディングス株式会社

03.SRSホールディングス株式会社

04.日本ホテル株式会社

05.株式会社京王プラザホテル

06.東京都杉並区

07.株式会社アレフ

08.株式会社筑波学園ホテル

09.東京農業大学

10.ニッコースタイル名古屋

11.株式会社いっちょ

12.立命館大学食マネジメント学部

13.株式会社名鉄ホテルホールディングス

14.東京都多摩市

15.株式会社ダイナック

16.城山観光株式会社

17.康正産業株式会社

18.株式会社芝パークホテル

19.blancjapan株式会社

20.株式会社トリドールホールディングス

21.株式会社レンブラントホテルマネジメント

22.株式会社大戸屋ホールディングス

23.穴吹エンタープライズ株式会社

24.一般社団法人食品ロス・リボーンセンター

25.マイボックス普及企業組合

26.公益財団法人かごしま環境未来財団

27.外食懇話会

28.麒麟シティ株式会社

29.株式会社グルメ杵屋

30.東京都千代田区

31.合同会社ShokumS

32.石坂産業株式会社

33.株式会社ロイヤルホテル

34.株式会社帝国ホテル

35 株式会社BUB

36 東急ホテルズ&リゾーツ株式会社

37 循環工房合同会社

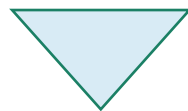


ボールドアンダーライン: 幹事会員

※2026年5月1日現在

※番号はコンソーシアム参加順

「食品ロス・食品廃棄物削減」という社会課題について、競合の垣根を超えた複数の事業者、自治体、大学、一般団体が連携し、mottECO普及を目的としたアライアンスを結成、mottECO導入と拡大を通じその解決を図る



「消費行動の変容」を目指す



飲食事業はお客さまと最も接点の多い仕事

⇒消費者と一緒に社会の在り方を変えていく「**機会**」と「**責任**」がある

環境にやさしい容器

容器そのものが、お客様への
「自己責任によるご利用」の
訴求になっています



お持ち帰りで使う容器は
環境に配慮したFSC®認証
製品です。

FSC®N003342

容器コストの
ソリューションとして
有償提供

※FSC®ラベルは世界の森林資源の責任
ある利用を保証します。

もうひとつのコンセプト

食品ロス削減とプラスチック削減の両立

容器は有料で提供

デニーズでは、mottECO(モッテコ)を使いたいお客様は、
テーブルのタブレットから有料で頼むことができます



容器有料化の意味

1. 個人店負担の軽減と
2. 実施店舗リスクの回避

容器と一緒に持ち帰りの注意点とWEBアンケートのチラシをお渡しする

- ・容器そのものに「自己責任による取り組み」訴求
- ・容器は持続可能性が担保された環境配慮素材(FSC認証材)

☆お持ち帰りの際の注意点 (必ずお読みください)

お客様の責任でお持ち帰りください
容器への移し替えはご自身でお願いします

※匂いや味に異変を感じた場合は召し上がらないでください
※アレルギーのある方には譲渡しないでください

帰宅後できるだけ速やかに
お召し上がりください

生もの、傷みやすいものは
お持ち帰りいただけません

暑い時期や長時間の
持ち運びはご遠慮ください

十分に再
お召し上

容器は合同調達スキームを活用し、低コストな調達を実現

国が発信する食べ残し持ち帰りガイドラインをわかりやすく掲示し、
消費者の安全と事業者のリスクヘッジを担保

mottECO (モッテコ) は、食べきれなかったお料理を
「お客様ご自身の責任で」持ち帰る行為の受付けです

mottECO普及コンソーシアムです

「食べ残しを捨てない社会(実現のため)mottECOを通じて、経営者様連携で食品ロス削減に取り組んでいます
この取り組みは「令和5年度食品ロス削減推進表彰(環境大臣賞)」を受賞しました

THE TOKYO STATION 外食懇話会
DTEL
nikko Style
名数トコホテル 名数グランドホテル
DYNAC
マイボックス普及企業組合

METROPOLITAN HOTELS
Dentys
Royal Host
masm
ASA CHIRAL PLAZA
SHIBUYAMA HOTEL TORIDOLL
高松国際ホテル
blancjapan株式会社
食品ロスリポーター

多摩市
千代田区

この取り組みは、環境省「令和7年度食品の消費行動に伴う食品ロス削減対策導入モデル事業」に採択され、産・官・学・民連携の30団体で展開しております

mottECOをご利用いただいたお客様に
Webアンケートへのご協力をお願いしております

普及コンソーシアム

取り組みご参加のお問い合わせ
mottECO普及コンソーシアム事務局
info.motteco@koreyakono.jp

環境省 消費者庁 厚生労働省 農林水産省

食品ロスについて
食品ロスゼロサイトへ

期末実施店舗数と食品廃棄物削減量年間換算

2021年度末
126店舗
9.4 トン

2022年度末
750店舗
52.0 トン

2023年度末
1,095店舗
72.4 トン

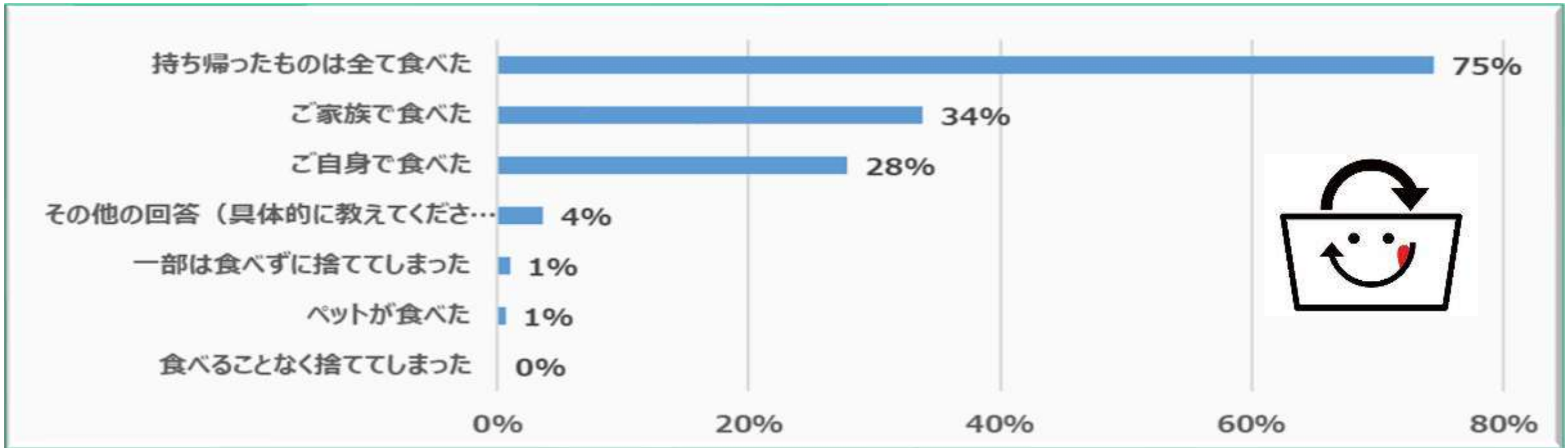
2024年度末実績
1,233店舗
食品廃棄物削減量 82.0トン

2026年度末実績
34団体 1,589店舗
食品廃棄物削減量 107.6トン

もって帰った食べ残しはどうなったのでしょうか？

※WEBアンケート より

Q.お持ち帰りになった商品は、どの程度食べられましたか。またどなたが食べられましたか。当てはまるもの全てお答えください:複数回答 (n値 5,060)



WEBアンケートが示す通り、mottECO利用されたものは99%召し上がっています

つまり捨てられずに消費されており、この取り組みが廃棄物削減につながっていると見做すことができると考えます



食品ロスとフードロス

～FAO(国連食糧農業機関)の定義～

食のサプライチェーン(「生産・貯蔵・加工・製造・流通」から、「小売・外食・家庭」への一連の流れ)において、前半で発生するものを「Food Loss(フードロス)」、後半で発生するものを「Food Waste(フードウェイスト)」と呼ぶ

WFP

フードロス Food Loss

mottECOは「体験」

⇒家庭系食品ロス削減にも寄与できるのではないか

食品ロス
Food Loss & Waste

フードウェイスト Food Waste

SDGs12-3の数値目標
2030年までに半減



パートナーシップ(官民連携の強化)と発信



～ 食べ残しをなくそう！～
食品ロス削減

ブース出展者募集!



mottECO

モッテコフェスタ

FESTA 2026

7月27日(月)
10:30~14:00

ホテルメトロポリタン エドモント
本館2階 宴会場

会場アクセス



東京都千代田区飯田橋3-10-8
(飯田橋駅・水道橋駅下車 徒歩約5分)

展示ブース

出展申込



出展概要サイトをご確認の上
サイト内の専用フォームより
お申込みください。

▶「出展概要サイト」はこちら

来場無料

来場予約



複数名でご参加の場合は、
お手数ですが、お一人ずつ
お申込みください。

※事前申し込み制



※申し込み受付は6月1日より開始

「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」 と共同宣言

まずは食べきっていただくことを最優先に発信する
「mottECO普及コンソーシアム」と「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」の活動主旨が同じであることから共同宣言を発信

【共同宣言事項】

- 1 食べきり運動の普及・啓発
- 2 食べきり運動推進に関する取り組みの企画・立案
- 3 食べきり運動推進に関する取り組みの情報発信
- 4 その他食品ロス削減の推進を図るための活動

【主な連携内容】

「食べきり運動」と「mottECO事業」の連携による啓発

【共同宣言日】

令和7年3月28日（書面による共同宣言）

食品ロス削減の推進に関する共同宣言

私達は、SDGs（持続可能な開発目標）や食品ロスの削減の推進に関する法律などに基づき、「おいしい食べ物を適量で残さず食べきる運動（食べきり運動）」をはじめとする食品ロス削減の効果的な推進を図るため、次の事項について連携・協力し、積極的に取り組んでまいります。

- 1 食べきり運動の普及・啓発に関すること
- 2 食べきり運動推進に関する取り組みの企画・立案に関すること
- 3 食べきり運動推進に関する取り組みの情報発信に関すること
- 4 その他食品ロス削減の推進を図るための活動に関すること

令和7年3月28日

mottECO 普及コンソーシアム

代表 中上 憲之

全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会

会長 崎田 裕子

パートナーシップによる食ロス削減を推進



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



ご興味のある方はぜひご連絡ください！
info_motteco@koreyakono.jp